

### 令和 2 年度 学校経営計画及び学校評価

#### 1 めざす学校像

校訓「つくろう あすへの わ」(心と体の調和・仲間とのつながりの輪・自分らしさの我の三つの「わ」)を大切にしながら、これまで大阪の支援教育で積み上げられてきたものを大切に、新たなニーズに対応する支援教育を発信できる学校「未来志向型支援学校」をめざす。

- 1 「一人ひとりを大切に、将来に向けたステップを作る学校」
- 2 「自ら前向きに変わっていかうとする力を持つ学校」
- 3 「関係機関と連携し、地域に根付く学校」

#### 2 中期的目標

##### 1 専門性、指導力の向上による支援教育の専門家集団づくり

- (1) 教育実践マトリクス(本校独自の教育実践指標) 個別の教育支援計画、個別の指導計画、指導略案等を連動させ、教員・保護者ともに活用しやすい様式の検討と整備。
- (2) 経験年数の少ない教職員の教育力の育成、中堅層、ベテラン層の指導力・伝達力の向上(メンター制・チューター制、校内研修、公開授業)。
- (3) 教職員が力を発揮しやすく、業務の効率化が図れる学校運営の組織改編。
- (4) 教材室の整備、教材データベースの活用。

##### 2 自立活動、キャリア教育の充実

- (1) 自立活動指導の進め方のガイドラインを作る。
- (2) 自立活動指導の充実を図るため、各学期で2回程度の授業研究を実施する。
- (3) 各学部、各学年で実施しているキャリア教育を全校一貫として取り組む。
- (4) 生徒たちが「職業」などで製作した物品や農作物等の販売学習等(各学期に2回程度実施)を通して、生徒の社会参加意識や社会貢献意識の向上を図る。

##### 3 安全安心な学校づくり

- (1) 校内で実施する火災避難訓練や地震避難訓練の充実(非通知防災訓練を全校で1回以上、各学部で1回以上実施)を図る。
- (2) 大規模変災時に児童生徒が学校で数日過ごすという想定で、必要な物品の確保や対応の工夫を図る。
- (3) 児童生徒の人権を守り、教職員が互いに理解し協力しあえる関係構築(人権研修、連絡会や会議での情報共有・意見交換)
- (4) 性に関する学習の充実(学年間の連携、学部間の連携)を図る。

##### 4 ひとりひとりにあった進路指導、職業教育の展開

- (1) 高等部の職業教育の充実を図る。
- (2) 職業教育を通して地域と繋がる。
- (3) 進路指導に必要な就労支援制度、障がい福祉制度についての知識を蓄積する。
- (4) 現場実習先開拓、校内作業実習教材開拓の充実を図る。
- (5) 校内、校外への情報発信を向上させる。

#### 【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

| 学校教育自己診断の結果と分析 [ 令和 年 月実施分 ] | 学校運営協議会からの意見 |
|------------------------------|--------------|
|                              |              |

本年度の取組内容及び自己評価

| 中期的<br>目標                                    | 今年度の重点目標  | 具体的な取組計画・内容   | 評価指標<br>保：保護者肯定率の略<br>教：教員肯定率の略  | 自己評価 |
|--|---|---|--|------|
| <p>1<br/>専門性、<br/>指導力の向上による支援教育の専門家集団づくり</p> | <p>(1) 教育実践マトリクス（本校独自の教育実践指標）、個別の教育支援計画、個別の指導計画、指導略案等を連動させ、教員・保護者ともに活用しやすい様式の検討と整備。</p> <p>(2) 経験年数の少ない教職員の教育力の育成、中堅層、ベテラン層の指導力・伝達力の向上（メンター制・チューター制、校内研修、公開授業）。</p> <p>(3) 教職員が力を発揮しやすく、業務の効率化が図れる学校運営の組織改編。</p> <p>(4) 教材室の整備、教材データベースの活用。</p> | <p>(1) ア、マトリクスの全学部活用実施、新シラバスに基づく授業実施でみられる課題の洗い出しを、教員のアンケートで意見集約する。<br/>イ、実施スケジュールに合わせ、次年度に向けた改定を行う。<br/><br/>ウ、連動したそれぞれの様式の見直しを行う。</p> <p>(2) ア、メンター、チューター会議、初任者の振り返り会を定例化する。<br/><br/>イ、・全国でも先進的な取組みを行っている学校の研修会等に積極的に参加し校内に伝達する。<br/>・授業実践を「校長・准校長だより（教職員向け）」で紹介する。</p> <p>(3) ア、校務分掌の改編により、教員一人ひとりの力が発揮できるチームづくりを進め、業務内容効率化を図る。<br/><br/>イ、「校長・准校長だより（教職員向け）」の発行及びメール配信により、業務の理解と効率化を図る。</p> <p>(4) ア、教材室の整備、教材教具の整理を行い、教材データベースに登録されている教材を活用した授業を公開する。<br/><br/>イ、授業実践をまとめ、紀要を発行する。</p> | <p>(1) ア、「シラバス、指導案、授業記録を蓄積し常に授業改善に取り組んでいる」<br/>教 75%以上( 教:H29 68%、H30 74%、R1 70%)<br/>イ、「教育実践マトリクスを活用し教員と児童生徒に関する共通理解ができている」<br/>保:70%以上、教:45%以上<br/>( 保:H29 50%、H30 52%、R1 68%)<br/>( 教:H29 44%、H30 47%、R1 39%)<br/>ウ、それぞれの様式を連動させたシステムの完成。</p> <p>(2) ア、初任者振り返り会を年3回実施。<br/>・「メンター制など人材育成に関する校内支援体制ができている」教:60%以上<br/>( 教:H29 58%、H30 52%、R1 58%)<br/>イ、「校内研修組織が確立し専門性向上のための研修が計画的に実施されている」<br/>教:70%以上( 教:H29 78%、H30 76%、R1 68%)<br/>・「研修・研究に参加した成果を他の教職員に伝える機会が設けられている」教:70%以上<br/>( 教:H29 49%、H30 77%、R1 61%)</p> <p>(3) ア、「学校運営に教職員の意見が反映されている」教:40%以上<br/>( H29 53%、H30 49%、R1 39%)<br/>・「教職員の適正・能力に応じた校内人事や校務分掌の分担、連携、機能している」<br/>教:50%以上<br/>( 教:H29 46%、H30 49%、R1 41%)<br/>イ、「校長・准校長だより（教職員向け）」を月1回発行。</p> <p>(4) ア、・全校公開授業日を年1回実施。<br/>・「学校内で他の教員の授業を見学する機会がある」教:55%以上<br/>( 教:H29 72%、H30 75%、R1 53%)<br/>イ、研究紀要の発行。</p> |      |

府立西浦支援学校（高等部）

|                             |   |  |  |  |
|-----------------------------|---|--|--|--|
| <p>2<br/>自立活動・キャリア教育の充実</p> | <p>(1) 自立活動指導の進め方のガイドラインを作る。</p> <p>(2) 自立活動指導の充実を図るため、各学期で2回程度の授業研究を実施する。</p> <p>(3) 各学部、各学年で実施しているキャリア教育を、全校一貫として取り組む。</p> <p>(4) 生徒たちが「職業」などで制作した物品や農作物等の販売学習等（各学期に2回程度実施）を通して、生徒の社会参加意識や社会貢献意識の向上を図る。</p>                           | <p>(1) ア、自立活動教科会において、自立活動チェックシートを活用した実態把握を行い、指導目標を設定する。<br/>・担当者と担任で、自立活動チェックリストと教育実践マトリクスとの比較を行う。<br/>・研究授業等、実践を積み、評価に結び付ける。</p> <p>(2) ア、自立活動教科会を中心として、自立活動の研究授業を実施する。<br/>イ、外部より講師を招聘し、自立活動についての研修を行う。</p> <p>(3) キャリアマトリクスを作成し、キャリアコーディネーターを中心に全校一貫したキャリア教育をめざす。<br/>(教育実践マトリクスと連動させる)</p> <p>(4) ア、高等部が校内で実施する「にしうらしえんマルシェ」に、小・中学部が参加できる活動を増やす。(地域へのチラシ配布、農作業コーチング、収穫等)<br/>イ、生徒の活動の場を校内から校外へ広げ、社会参加意識の向上を図る。<br/>・後輩に向けて「先輩の体験を聞く会」を企画する。<br/>ウ、企業見学を行うことで、社会参加意識の向上を図る。</p> | <p>(1) 「自立活動の指導にあたっては、児童生徒が興味をもって、主体的に取り組めるように工夫されているか」教:80%以上<br/>(教:H29 86%、H30 82%、R1 73%)</p> <p>(2) ア、研究授業を各学期で2回程度実施。<br/>イ、年1回以上研修会を開催する。</p> <p>(3) 「小学部、中学部、高等部を通して一貫性のあるキャリア教育が行われている」教:55%以上<br/>(教:H29 46%、H30 50%、R1 50%)</p> <p>(4) ア、学部間交流年3回以上</p> <p>イ、「学校は、児童生徒が社会の一員や役割を意識できる教育活動を行っている」保:75%以上 (H29 37%、H30 61%、R1 74%)</p> <p>ウ、現場実習希望者による企業見学を年1回以上実施。</p>   |  |
| <p>3<br/>安全安心な学校づくり</p>     | <p>(1) 校内で実施する火災避難訓練や地震避難訓練の充実（非通知防災訓練を全校で1回以上、各学部で1回以上実施）を図る。</p> <p>(2) 大規模変災時に児童生徒が学校で数日過ごすという想定で、必要な物品の確保や対応の工夫を図る。</p> <p>(3) 児童生徒の人権を守り、教職員が互いに理解し協力しあえる関係構築(人権研修、連絡会や会議での情報共有・意見交換)</p> <p>(4) 性に関する学習の充実(学年間の連携、学部間の連携)を図る。</p> | <p>(1) ア、各学部または各学年で教科横断的に防災学習を行い、事前告知なしの避難訓練を実施することで、自分の身を守るための行動を考えさせ、生徒の防災意識を高める。<br/>イ、全校で事前告知なしの避難訓練を実施する。</p> <p>(2) ア、児童生徒の緊急時の薬の校内管理のガイドライン作成を検討する。<br/>イ、備蓄品の充実を図る。<br/>ウ、教員向け防災研修を実施し、避難訓練前の防災学習を教科横断的に実施する。</p> <p>(3) ア、児童生徒との関わりの工夫や提示の仕方について学年会や連絡会で情報共有し、迅速な対応を図る。<br/>イ、人権に関する研修を実施する。</p> <p>(4) 各学部・学年で実施したことを「性に関する学習PT」で共有し、学校全体の連携を図る。<br/>ア、高等部で、「心と体を大切にする(ココカラ)学習」特別授業を実施する。<br/>イ、高等部で「ココカラ チャレンジウィーク」を設定し、全教科で性教育に取り組む。</p>                               | <p>(1) ア、各学部または各学年で事前告知なしの避難訓練を、年間で1回以上実施。<br/>・「学校は防災に関する訓練や防災学習を行っている」保95%以上維持。<br/>(H29 53%、H30 65%、R1 96%)<br/>イ、全校で事前告知なしの避難訓練を年1回以上実施。</p> <p>(2) ア、「防災マニュアルや緊急時の体制は整っている」教85%以上<br/>(H29 83%、H30 90%、R1 84%)<br/>イ、購入した備蓄品を「校長・准校長だより」に掲載し、情報発信を図る。<br/>ウ、防災研修年2回実施。</p> <p>(3) ア「児童生徒の人権を尊重し、日常の教育活動を行っている」教85%以上<br/>(H29 92%、H30 90%、R1 80%)<br/>イ、人権研修年3回実施。</p> <p>(4) ア学校では児童生徒の実態に応じて生命の大切さや社会のルールを守る態度の育成に取り組んでいる」教85%以上<br/>(H29・30無 R1 81%)<br/>ア、年2回実施<br/>イ、年2回実施</p> |  |

府立西浦支援学校（高等部）

|                                     |   |  |   |  |
|-------------------------------------|---|--|---|--|
| <p>4<br/>ひとりひとりにあつた進路指導、職業教育の展開</p> | <p>(1) 高等部の職業教育の充実を図る。</p> <p>(2) 職業教育を通して地域と繋がる。</p> <p>(3) 進路指導に必要な就労支援制度、障がい福祉制度についての知識を蓄積する。</p> <p>(4) 現場実習先開拓、校内作業実習教材開拓の充実を図る。</p> <p>(5) 校内、校外への情報発信を向上させる。</p> | <p>(1) 高等部内に検討委員会を設置し、職業教育の見直しを検討する。</p> <p>(2) 校外での活動の場を広げ、地域の方々と触れ合う機会を増やす。</p> <p>(3) 進路専任、支援進路部が中心となって、研修会を実施し、より多くの教員が参加できる学びの場を提供する。</p> <p>(4) 障がい者雇用に対する社会の動きや、企業の方の生の声を聞く機会を設け、進路指導に役立てる。</p> <p>(5) 校長・准校長だより(保護者向け、教職員向け)やホームページ等で発信する。</p> | <p>(1) 作業学習や職業コースなどに関する授業は充実している」教:70%以上<br/>(教:H29 67%、H30 64%、R1 63%)</p> <p>(2) 「生活、作業学習、職業など職業教育に関する授業は充実している」保:80%以上(H29 63%、H30 61%、R1 79%)</p> <p>(3) 学びの場を年5回以上開催。</p> <p>(4) 卒業生就労先の企業の方による講演会を年間1回実施。</p> <p>(5) 「学校はホームページなどの活用の含め、教育情報について、提供の努力をしている」保70%以上(H29 50% H30 63% R1 68%)<br/>「教育活動に必要な情報について、児童生徒・保護者や地域への周知に努めている」<br/>教:70%以上(H29 73%、H30 87%、R1 67%)</p> |  |
|-------------------------------------|---|--|---|--|